

2009年度 大阪大学 前期 英語(外国語)

I

- (A) さらに、何が原因でこうした状況になっていると思うかと問われると、教師の大半は、電子メール、携帯電話、インスタント・メッセージといった新しい発明品をすかさず、やりだまにあげる。若者のことば遣いの墮落だと認められるどんなものも、こうしたものが原因だと心の底から信じているのである。
- (B) IPCC にかかわっている個々の科学者の全員が、その報告のなかの一つ一つの文面、一つ一つの確率推定に完全に同意しているわけではないが、IPCC の発表が、気候変動に関して手に入れることを望みうる最良の科学的助言であることを本気で疑う人は、いるとしてもごくわずかだろう。

II

設問(1)

誰とは分からない単数または複数の人物が、高周波数のモスキート音を真似て、携帯電話の着信音として使えるものを作り出したわけだが、それがあれば、授業中に教師に気づかれずに、メールが新たに届いたという知らせを学生が受け取ることができるだろう、と思っただけのことであるのは明らかである。

設問(2)

音が聞こえたとしたら、嫌な音に悩まされるという欠点があるし、音が聞こえない場合にも、学生の顔が突然変われば、誰かのところにメールが届いたと分かる利点があるから。(80字)

設問(3)

- <解答例1> 三角形の面積の計算法を忘れてしまうといったこと。
<解答例2> 1クォートが何ポイントであったかを忘れてしまうといったこと。
<解答例3> 不動産について話をするのを止めることができなくなってしまうといったこと。

設問(4)

モスキート音が、知らない方が良いものであるということを示す例。

設問(5)

心と身体の変化が意味するのは、昔には自分に見えていたものの一部が見えなくなってしまう、視界から消えてしまうが、その埋め合わせとして、新たなものが見えるようになるということだ。

設問(6)

- どう考えてみても、20歳になっていないなら、このページは白紙も同然になってしまうだろう。
(理由) 20歳未満のものは、鋭敏な聴覚を持ってはいるが、書かれているものを見ても、その内容は理解できないから。(51字)

III

- <作例1> I would talk about a new trend in playing traditional Japanese musical instruments. There once were few young people who were interested in them, but recently more and more youngsters have become eager to play such instruments as *shamisen* or *wadaiko*. In many schools students practice and enjoy playing these instruments in their extra-curricular activities. Some of them even adopt Western styles and try to invent entirely new music of their own. (72 words)
- <作例2> I'd like to talk about vending machines. Today almost everywhere in Japan there are vending machines, and even some monkeys in the mountains can get cans of soft drinks by using the coins they have found. Moreover, almost anything can be bought from a vending machine — not only cigarettes and newspapers but also fruit, ramen, manga, and toys. I want people in other countries to know what a wonderfully foolish world our advanced technology has created. (77 words)

IV

- (1) When she came out of the train station, she began to walk quickly without saying anything about where she was going. Since I had no other choice, I walked behind her, as if following her footsteps. She always walked about one meter ahead of me.
- (2) Of course, if I had wanted to, I could have caught up with her, but something in my mind discouraged me from doing so.
- (3) After saying what she wanted to say, she began to walk forward again. It's perfect weather for a walk, I said to myself and walked in a resigned way.

V

(A)

設問(1)

殴られたり、飢えに苦しんだり、病気が蔓延しているようなところで、刑務所で苦しみを味わうようなものだと描かれていた。

設問(2)

陸上で生活しているときに食べるものよりもずっと贅沢な食事だと感じていた。

設問(3)

食事時間を 90 分にして船員たちが十分に食べられるように配慮していた。

設問(4)

(新鮮な果実や野菜から主に摂取される) ビタミン C の欠乏が原因で生じる病気。